

脇町ロータリークラブ

第 2670 地区

徳島第 2 分区 脇町ロータリークラブ

2016 年 6 月 9 日

第 46 回定例会 No.2564

会員総数：46 名 出席率 65.9%



メイクアップ

古川会員 (5/19,20 第 38 回 RYLA セミナー、5/20,21 第 21 回国際ロータリー交換研究会)

南善幸 副会長 挨拶

今、畑でこんにゃくの植え付けをしています。農業を通して自然の恵みを実感しています。植え付けや収穫など、適期がございます。ビジネスにおいても適材適所と言いますが、長く同じ部署でいますと人事移動を嫌う社員も居ります。しかし、あえて移動することで人材を育て会社も発展いたします。

海外からの実習生を受け入れています。3 年もすると言葉や文化にも慣れ仕事も安心して任せられます。慣れと馴れ合いは異なります。経営も慣れに甘んじること無く攻めの姿勢を忘れてはいけません。

幹事報告 六車次期幹事

今期はじめて前席に座らせて頂きました。皆さんの顔の見える方がこんなに違うものかと実感しています。本日、鎌田幹事が北海道静内 RC 訪問の為、欠席しています。報告は来週にします。

千葉インターアクト委員長

6/11 に会長・幹事研修会に脇町高校の 4 名の生徒さんと武田教頭先生に私で参加してきます。またニュージャーシーからの交換留学生も参ります。白川会員に引き受けて頂きました。

卓話 徳島銀行 柳本直紀さま

富本会員より紹介 5/19-22 で小豆島の余島で RYLA の研修会に当徳島銀行脇町支店の行員の柳本が行っておりました。お話させていただきます。

24 歳にはなかなか見えないのですが実は若いです。大麻で生まれましたが小学 2 年までいました。その後、2 年間福岡で過ごし、その後は大学まで高松で採用後の配属も高松支店で今年 2 月に脇町ということで徳島に帰ってきました。

RYLA は青少年指導者の養成をしています。38 回目という長い歴史を持っています。2670 地区と 2680 地区の共同開催で 3 泊 4 日という長期である点が他の会場と違います。受講生は 20 歳以上で 48 名が参加しました。自主性が最大限尊重されます。ロータリアンがカウンセラーを務め寝食をともにし、相談役となります。内容は大学の教養部に相当するようなレベルの高いものです。

合同の RYLA は珍しく取材が入っておりビデオ撮影されていました。また今会場の前評判を知った東京からの参加者もいました。

12 名 4 班に分かれ、さらに 1 班が 4 名の 3 グループに分かれテーマを話しあい、それを持ち合って班の発表資料を作成し発表となります。各班特徴があり興味深いものでした。その夜にはキャンプファイヤーで自らを見つめ直しました。

いろいろな業種の方と交流することで、これまでにない刺激を受け、新たな視点がうまれると感じました。コミュニティにおいては、それぞれに役割があり特にリーダーの存在が重要であると学びました。今回出会った人たちと再び集まる約束をしました。新しい人脈は大きな財産となりました。

次回例会	2016年6月16日(木) 12:30～ The Destino Garden 静内 RC 訪問 報告
------	---

ニコニコ
千葉会員、三宅会員、鳥海会員

次の会員は例会欠席でした。メイクアップしてください。 (次回の出欠を六車出席委員長もしくは鎌田幹事まで連絡してください。)
一井会員、内田会員、遠藤会員、小野会員、門田会員、鎌田幹事、河野会員、川原会員、北川会員、郷司会員、佐藤忠則会員、須藤会員、鉄野会員、豊島会員、藤川会員、藤村会員、古田会員、南由起子会員、宮本会長

週報編集者 談

- ・今週は宮本会長をはじめ5名の会員が北海道静内 RC へ訪問され欠席されていました。今頃、涼しく晴れた気持ち良い天気のもとゴルフを楽しまれているのでしょうか？
- ・日本の理化学研究所のグループが発見した「113番元素」の名が「ニホニウム」となることが決まりました。アジアでは初の快挙です。新元素名は国や地域、科学者の名前の語尾にイウムなどを付ける事が国債規則となっています。アメリカのアメリシウム、フランスのフランシウム、ドイツの古称でゲルマニウムなどが知られています。
- ・今朝、ロシアと中国の軍艦が相次ぎ尖閣諸島周辺の接続水域内に入りました。このこと事態は違法では有りませんが、敗戦後最大の安全保障を変える緊急事態であった事に違いはありません。すぐさま官邸は危機管理体制をとり、同時にアメリカ軍も速やかに動き、意思表示をしたそうです。ロシア海軍はインド洋で多国籍での軍事演習をした帰りに通っただけで、過去にも通過した際にも日本はロシアとの領土問題は無いので不問にした事によります。そして「尖閣を取る」と公言している中国が、ロシアのどさくさに紛れ軍艦を進入させました。これに対し日本は今までの海上保安庁では無く、海上自衛隊を派遣したのです。事の真相は、中国は70年前に突然この地域を中国の領土だと言い出しました。日本はこの地域に領土問題は存在しないという立場です。中国は自国領海にロシアと日本が進入した(笑ってしまいます)として領土問題としたい思惑だった様です。今回の事は、そう遠くない未来の領海侵入や不測の事態の前触れと言えます。いずれにしても日本は憲法により「国の交戦権は、これを認めない」と記されています。言葉のとおり解釈すると、例え国を侵略されても戦ってはいけないと書いているのです。だから、共産党は自衛隊は違憲であるから無くせと言っています。果たして、この憲法は本当に平和憲法なのでしょうか？このまま、祖先の残してくださった祖国日本を、愛する家族やまだ見ぬ子や孫に残せるのでしょうか？日本は国民主権。私たち一人一人が真実を知り行動する事が今求められています。

ところで、現場の首長である沖縄県知事はなぜ、これらの出来事に関しては何も問題にしないのでしょうか？アメリカ軍に関してはあれほど行動力があるのに。どちらも県民の安全に関わる問題には変わりはないはずですが・・・。

- 私の週報編集も今回を除きあと3回となりました。いやいや始めた役目も1年近くやって来ますと少し寂しく思います。今月末まで、もう少しお付き合いよろしくお願いします。